

会社説明会

～ 平成29年3月期 ～

Yamagata

Miyagi



平成29年6月16日

1.平成29年3月期決算の状況

① 損益の状況	…	1
② コア業務純益の増減要因	…	3
③ 貸出金の状況	…	4
④ 預金（譲渡性預金を含む）の状況	…	5
⑤ 預かり資産の状況	…	6
⑥ 有価証券の状況	…	7
⑦ 各種利回り・利鞘の状況	…	8
⑧ 経費・経営効率化の状況	…	9
⑨ 金融再生法開示債権の状況	…	10
⑩ 自己資本比率の状況	…	11
⑪ R O E の状況	…	12
⑫ 平成30年3月期業績予想	…	13

2.両行における取組みについて

① 仙台銀行のトピックス	
～“人で勝負する銀行”に向けた取組み～	… 14
～本業支援の取組み～	… 17
～地方創生、震災復興への取組み～	… 20
② きらやか銀行のトピックス	
～本業支援の取組み～	… 21
～10周年のスタートとして～	… 27

3.じもとホールディングスの取組みについて

① じもとホールディングスの中期経営計画	… 28
② ビジネスマッチングの実績	… 29
③ 金融グループとの連携	… 30
④ じもとホールディングスの内部管理態勢	… 31

1. 平成29年3月期 決算の状況

① 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位: 百万円、%)

	28年3月期	29年3月期	前期比	増減率
連結経常収益	42,522	44,132	1,610	3.7
経常利益	5,283	4,737	△ 545	△ 10.3
親会社株主に帰属する当期純利益	4,889	4,628	△ 261	△ 5.3

- じもとホールディングスの連結経常収益は441億32百万円、経常利益は47億37百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は46億28百万円となりました。

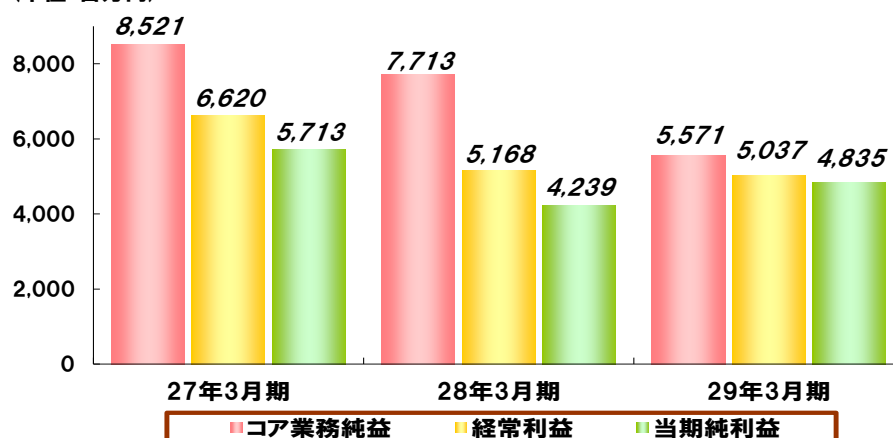
② 2行合算

(単位: 百万円、%)

	28年3月期	29年3月期	前期比	増減率
経常収益	41,812	38,312	△ 3,500	△ 8.3
業務粗利益	32,604	31,184	△ 1,419	△ 4.3
資金利益	30,737	28,970	△ 1,767	△ 5.7
役務取引等利益	2,747	2,474	△ 272	△ 9.9
その他業務利益	△ 880	△ 260	620	-
うち国債等債券損益	△ 899	△ 384	514	-
経費(除く臨時処理分)	25,789	25,997	208	0.8
うち人件費	12,996	12,823	△ 172	△ 1.3
うち物件費	11,030	11,211	181	1.6
業務純益(一般貸倒繰入前)	6,814	5,186	△ 1,627	△ 23.8
コア業務純益	7,713	5,571	△ 2,142	△ 27.7
一般貸倒引当金繰入額	△ 816	-	816	-
業務純益	7,630	5,186	△ 2,443	△ 32.0
臨時損益	△ 2,462	△ 149	2,312	-
うち不良債権処理額	3,086	416	△ 2,669	△ 86.4
うち個別貸倒引当金繰入額	2,487	-	△ 2,487	-
うち貸倒引当金戻入益	-	288	288	-
うち株式等関係損益	1,260	454	△ 805	△ 63.9
経常利益	5,168	5,037	△ 131	△ 2.5
特別損益	△ 297	△ 71	226	-
当期純利益	4,239	4,835	595	14.0
与信関係費用	2,241	120	△ 2,121	△ 94.6

- 2行合算の経常収益は、前年同期比35億円減少の383億12百万円(増減率△8.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役務取引等利益が減少したことから、前年同期比21億42百万円減少の55億71百万円(増減率△27.7%)となりました。
- 経常利益は前年同期比1億31百万円減少の50億37百万円、当期純利益は法人税等の減少により前年同期比5億95百万円増加の48億35百万円となりました。

(単位: 百万円)



① 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	28年3月期	29年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	24,821	22,602	△ 2,218	△ 8.9
業務粗利益	20,247	18,128	△ 2,118	△ 10.4
資金利益	18,565	16,835	△ 1,729	△ 9.3
役務取引等利益	1,389	1,537	147	10.6
その他業務利益	292	△ 244	△ 536	△ 183.7
うち国債等債券損益	279	△ 366	△ 646	△ 231.2
経費(除く臨時処理分)	15,419	15,435	16	0.1
うち人件費	8,000	7,833	△ 167	△ 2.0
うち物件費	6,405	6,496	90	1.4
業務純益(一般貸倒繰入前)	4,828	2,693	△ 2,134	△ 44.2
コア業務純益	4,548	3,059	△ 1,488	△ 32.7
①一般貸倒引当金繰入額	172	-	△ 172	△ 100.0
業務純益	4,655	2,693	△ 1,961	△ 42.1
臨時損益	△ 1,918	△ 534	1,383	-
②うち不良債権処理額	1,432	338	△ 1,093	△ 76.3
うち個別貸倒引当金繰入額	1,145	-	△ 1,145	△ 100.0
(貸倒償却引当費用①+②)	1,605	338	△ 1,266	△ 78.9
うち貸倒引当金戻入益	-	65	65	-
うち株式等関係損益	138	240	102	73.8
経常利益	2,737	2,159	△ 577	△ 21.1
特別損益	△ 214	△ 62	151	-
当期純利益	2,124	2,200	76	3.5
与信関係費用	1,604	272	△ 1,332	△ 83.0

- 経常収益は、貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少したこと、有価証券利息配当金が減少したことなどから、前年同期比22億18百万円減少の226億2百万円(増減率△8.9%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことなどから前年同期比14億88百万円減少の30億59百万円(増減率△32.7%)となりました。
- 与信関係費用は、個別貸倒引当金の繰入額の減少などにより前年同期比13億32百万円減少の2億72百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比5億77百万円減少の21億59百万円、当期純利益は前年同期比76百万円増加の22億円となりました。

④ 仙台銀行単体

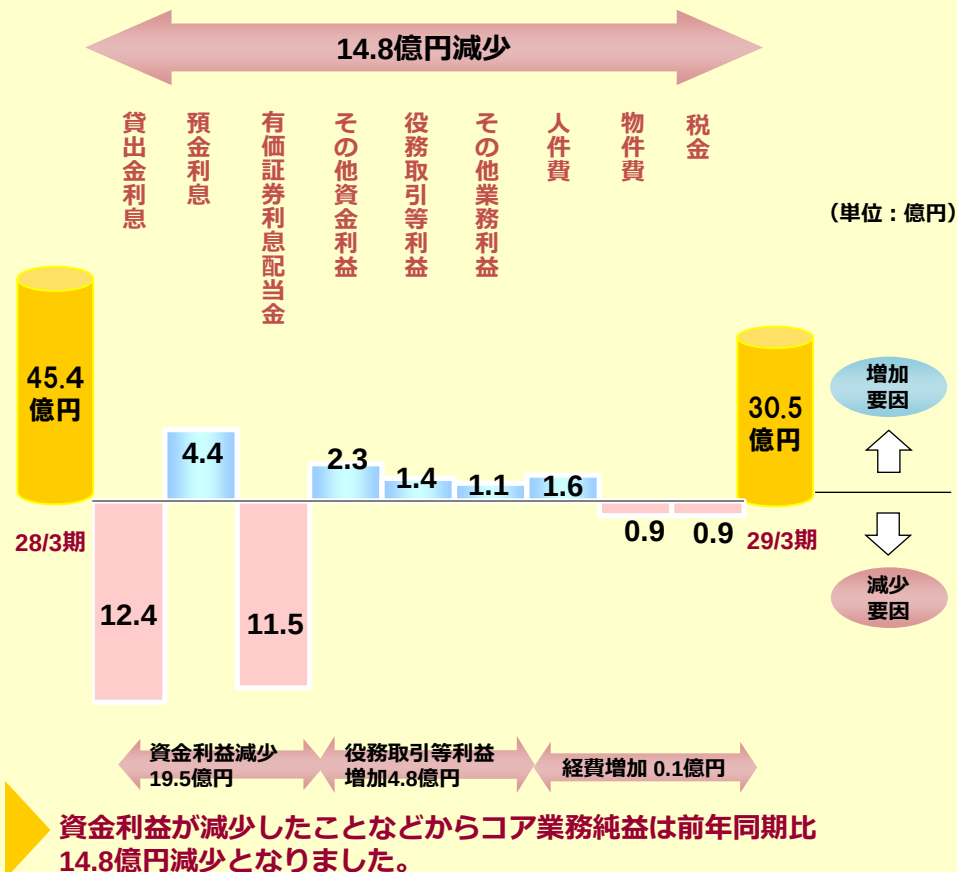
(単位:百万円、%)

	28年3月期	29年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	16,991	15,709	△ 1,282	△ 7.5
業務粗利益	12,356	13,056	699	5.6
資金利益	12,172	12,134	△ 37	△ 0.3
役務取引等利益	1,357	936	△ 420	△ 30.9
その他業務利益	△ 1,172	△ 15	1,157	-
うち国債等債券損益	△ 1,178	△ 17	1,160	-
経費(除く臨時処理分)	10,370	10,562	191	1.8
うち人件費	4,995	4,989	△ 5	△ 0.1
うち物件費	4,625	4,715	90	1.9
業務純益(一般貸倒繰入前)	1,986	2,493	507	25.5
コア業務純益	3,164	2,511	△ 653	△ 20.6
①一般貸倒引当金繰入額	△ 988	-	988	-
業務純益	2,975	2,493	△ 481	△ 16.1
臨時損益	△ 543	384	928	-
②うち不良債権処理額	1,653	78	△ 1,575	△ 95.2
うち個別貸倒引当金繰入額	1,341	-	△ 1,341	-
(貸倒償却引当費用①+②)	664	78	△ 586	△ 88.2
うち貸倒引当金戻入益	-	222	222	-
うち株式等関係損益	1,122	214	△ 907	△ 80.9
経常利益	2,431	2,878	446	18.3
特別損益	△ 83	△ 9	74	-
当期純利益	2,115	2,634	519	24.5
与信関係費用	637	△ 151	△ 789	△ 123.8

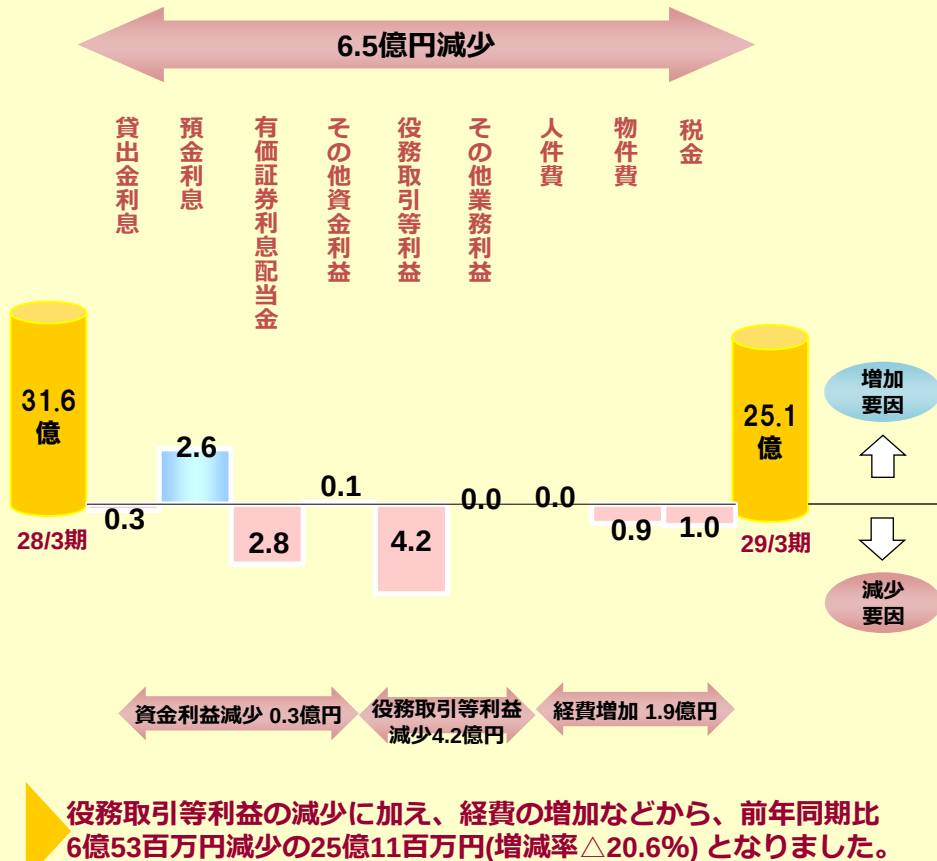
- 経常収益は、有価証券利息配当金や役務取引等収益が減少したことから、前年同期比12億82百万円減少の157億9百万円(増減率△7.5%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の減少に加え、経費の増加などから、前年同期比6億53百万円減少の25億11百万円(増減率△20.6%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒償却引当費用の減少及び貸倒引当金戻入益の計上から前年同期比7億89百万円減少の△1億51百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比4億46百万円増加の28億78百万円、当期純利益は前年同期比5億19百万円増加の26億34百万円となりました。

② コア業務純益の増減要因

① きらやか銀行



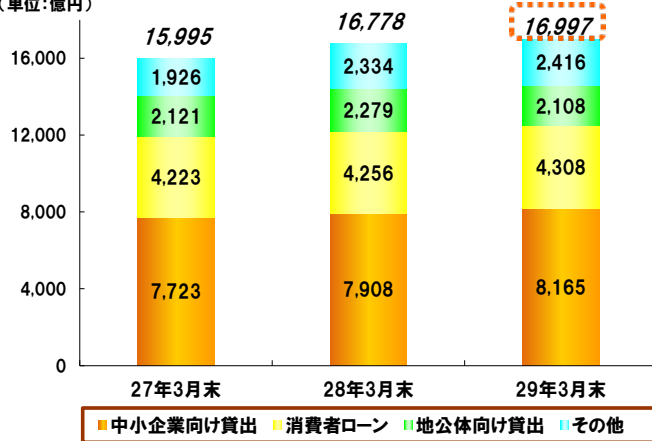
② 仙台銀行



③ 貸出金の状況

① 2行合算

(単位:億円)



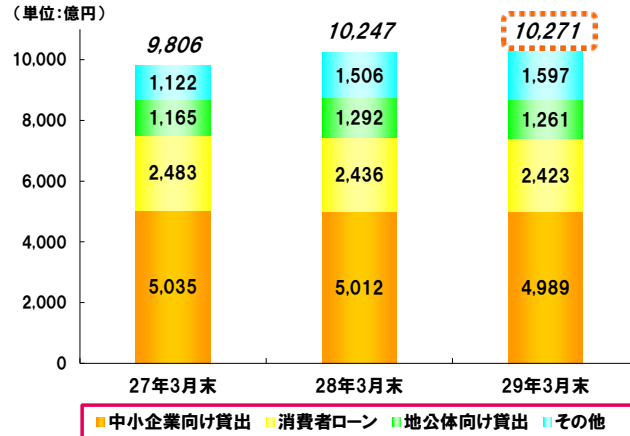
(単位:百万円、%)

	28年3月末	29年3月末	28年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	1,677,897	1,699,754	21,856	1.3
うち中小企業向け貸出残高	790,860	816,526	25,666	3.2
うち消費者ローン	425,639	430,801	5,162	1.2
うち住宅ローン	384,806	386,333	1,526	0.3
うち地方公共団体向け貸出	227,951	210,824	△ 17,127	△ 7.5

- 2行合算の貸出金残高は、28年3月末比218億56百万円増加の1兆6,997億54百万円となりました。

② きらやか銀行

(単位:億円)



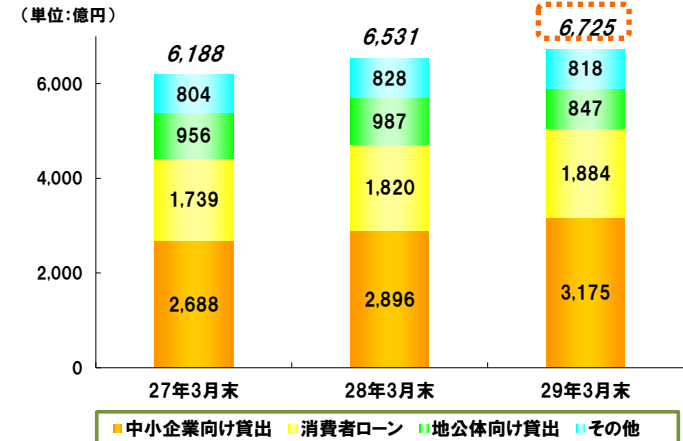
(単位:百万円、%)

	28年3月末	29年3月末	28年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	1,024,711	1,027,192	2,480	0.2
うち中小企業向け貸出残高	501,245	498,982	△ 2,263	△ 0.4
うち消費者ローン	243,619	242,315	△ 1,304	△ 0.5
うち住宅ローン	223,799	222,902	△ 897	△ 0.4
うち地方公共団体向け貸出	129,209	126,121	△ 3,088	△ 2.3

- 貸出金残高は、28年3月末比24億80百万円増加の1兆271億92百万円となりました。
- 中小企業を含む事業性融資については、本業支援を着実に実施した結果、28年3月末比31億43百万円の増加となりました。
- 地方公共団体向け貸出において、28年3月末比30億88百万円の減少となりました。

③ 仙台銀行

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

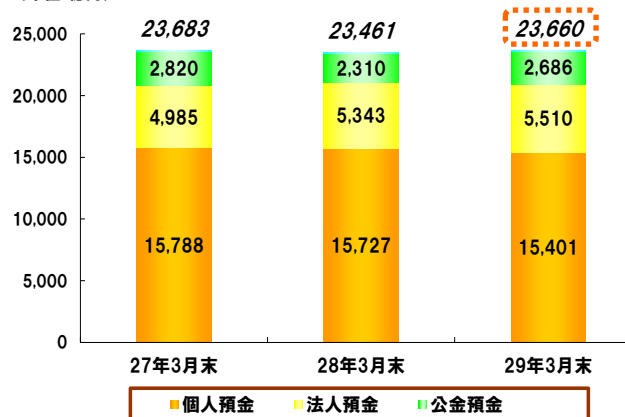
	28年3月末	29年3月末	28年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	653,186	672,562	19,375	2.9
うち中小企業向け貸出残高	289,615	317,544	27,929	9.6
うち消費者ローン	182,020	188,486	6,466	3.5
うち住宅ローン	161,007	163,431	2,424	1.5
うち地方公共団体向け貸出	98,742	84,703	△ 14,039	△ 14.2

- 貸出金残高は、28年3月末比193億75百万円増加の6,725億62百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援を通じてお客さまの資金需要へ積極的に対応したことから、28年3月末比279億29百万円増加の3,175億44百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローンや個人ローンの増加により、28年3月末比64億66百万円増加の1,884億86百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、28年3月末比140億39百万円減少の847億3百万円となりました。

④ 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

（単位：億円）



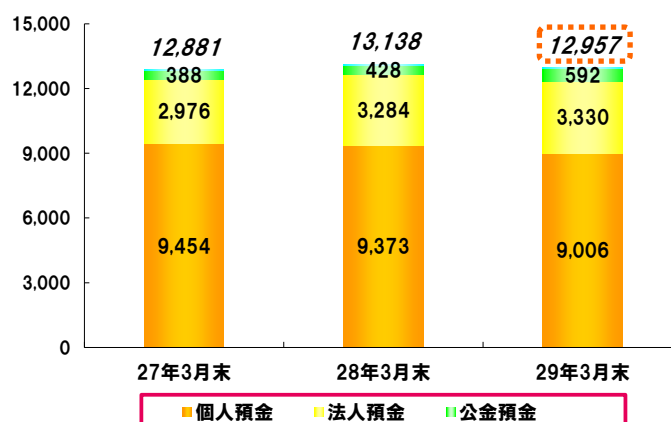
（単位：百万円、％）

	28年3月末	29年3月末	28年 3月末比	増減率
預金（譲渡性預金含む）（末残）	2,346,118	2,366,036	19,917	0.8
うち個人預金	1,572,741	1,540,145	△ 32,596	△ 2.0
うち法人預金	534,305	551,054	16,748	3.1
うち公金預金	231,005	268,671	37,666	16.3

- 2行合算の預金残高は、28年3月末比199億17百万円増加の2兆3,660億36百万円となりました。

② きらやか銀行

（単位：億円）



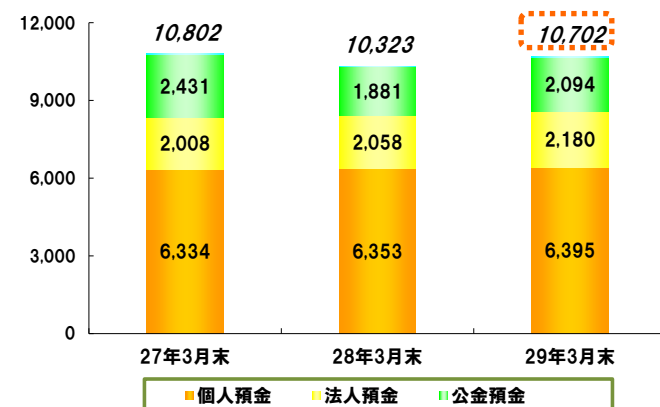
（単位：百万円、％）

	28年3月末	29年3月末	28年 3月末比	増減率
預金（譲渡性預金含む）（末残）	1,313,818	1,295,765	△ 18,052	△ 1.3
うち個人預金	937,392	900,600	△ 36,791	△ 3.9
うち法人預金	328,487	333,000	4,512	1.3
うち公金預金	42,808	59,228	16,420	38.3

- 預金残高は、28年3月末比180億52百万円減少の1兆2,957億65百万円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制したことから定期預金が減少したことなどにより、28年3月末比367億91百万円減少の9,006億円となりました。
- 法人預金は、流動性預金が増加したことなどにより、28年3月末比45億12百万円増加の3,330億円となりました。

③ 仙台銀行

（単位：億円）



（単位：百万円、％）

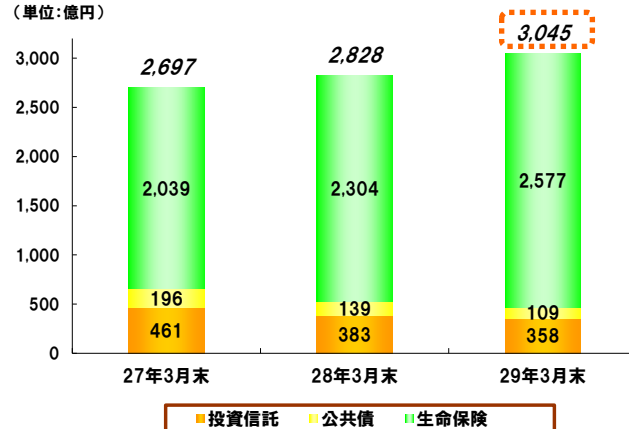
	28年3月末	29年3月末	28年 3月末比	増減率
預金（譲渡性預金含む）（末残）	1,032,300	1,070,271	37,970	3.6
うち個人預金	635,349	639,544	4,195	0.6
うち法人預金	205,817	218,053	12,235	5.9
うち公金預金	188,196	209,442	21,245	11.2

- 預金残高は、28年3月末比379億70百万円増加の1兆702億円となりました。
- 個人預金は、28年3月末比41億95百万円増加の6,395億44百万円となりました。
- 法人預金は、企業の手持資金の増加などにより、28年3月末比122億35百万円増加の2,180億53百万円となりました。
- 公金預金は、28年3月末比212億45百万円増加の2,094億42百万円となりました。

⑤ 預かり資産の状況

① 2行合算

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

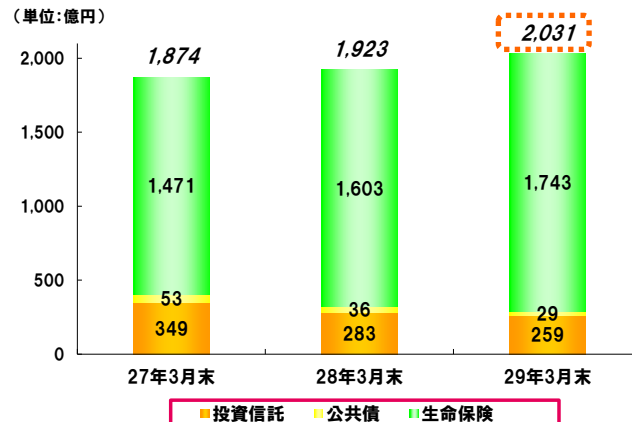
	28年3月末	29年3月末	28年 3月末比	増減率
預かり資産(末残)	282,843	304,524	21,681	7.6
うち投資信託	38,370	35,802	△ 2,567	△ 6.6
うち公共債(国債等)	13,980	10,986	△ 2,994	△ 21.4
うち生命保険	230,492	257,735	27,243	11.8

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

- 2行合算の預かり資産残高は、28年3月末比216億81百万円増加の3,045億24百万円となりました。

② きらやか銀行

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

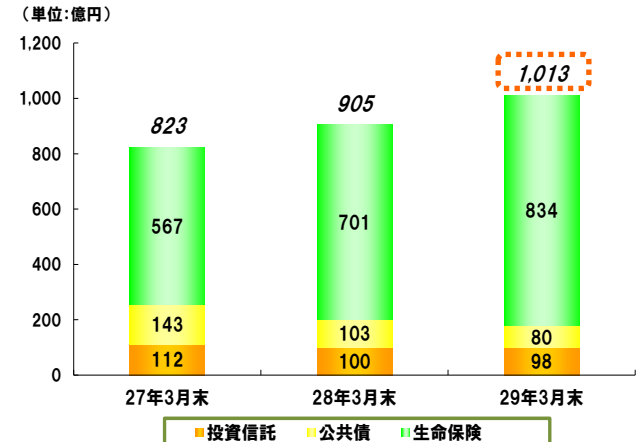
	28年3月末	29年3月末	28年 3月末比	増減率
預かり資産(末残)	192,314	203,191	10,877	5.6
うち投資信託	28,350	25,938	△ 2,411	△ 8.5
うち公共債(国債等)	3,634	2,929	△ 704	△ 19.3
うち生命保険	160,329	174,323	13,993	8.7

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

- 預かり資産残高は、28年3月末比108億77百万円増加の2,031億91百万円となりました。
- 投資信託は、28年3月末比24億11百万円減少の259億38百万円となりました。
- 公共債は、28年3月末比7億4百万円減少の29億29百万円となりました。
- 生命保険は、安定志向にあるお客様のニーズが依然高く、28年3月末比139億93百万円増加の1,743億23百万円となりました。

③ 仙台銀行

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

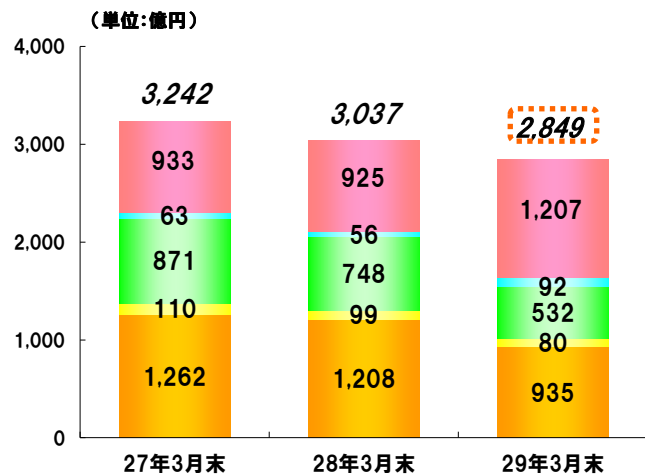
	28年3月末	29年3月末	28年 3月末比	増減率
預かり資産(末残)	90,528	101,332	10,803	11.9
うち投資信託	10,020	9,863	△ 156	△ 1.5
うち公共債(国債等)	10,346	8,056	△ 2,289	△ 22.1
うち生命保険	70,162	83,412	13,250	18.8

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

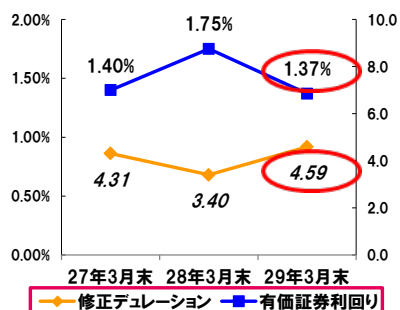
- 預かり資産残高は、28年3月末比108億3百万円増加の1,013億32百万円となりました。
- 投資信託は、28年3月末比1億56百万円減少の98億63百万円となりました。
- 公共債は、28年3月末比22億89百万円減少の80億56百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、28年3月末比132億50百万円増加の834億12百万円となりました。

⑥ 有価証券の状況

① きらやか銀行



■ 国債 ■ 地方債 ■ 社債 ■ 株式 ■ その他証券

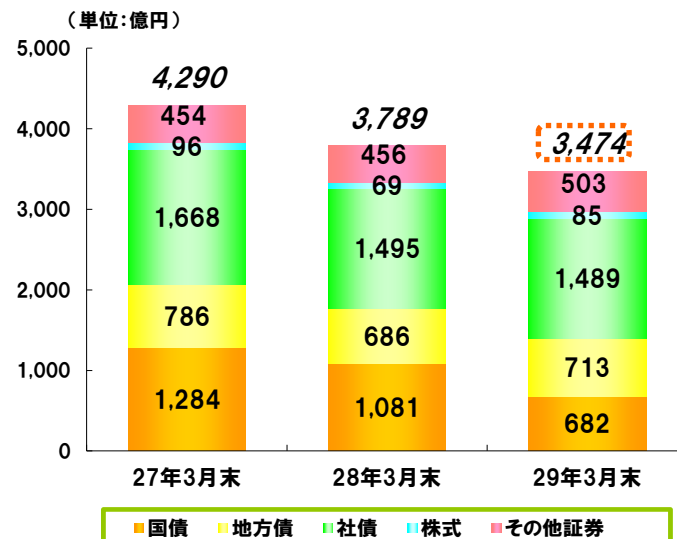


その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

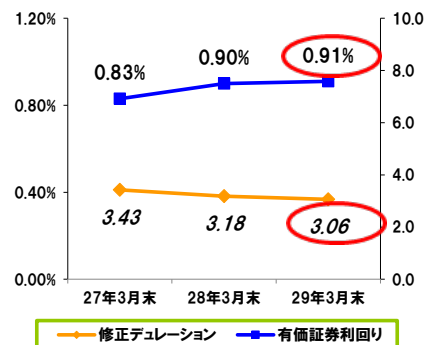
	28年 3月末	29年 3月末	28年 3月末比
その他有価証券	3,153	△ 692	△ 3,846
株式	891	1,040	148
債券	4,657	967	△ 3,689
その他	△ 2,395	△ 2,700	△ 305

- 有価証券残高は、運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、28年3月末比188億20百万円減少の2,849億50百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、債券の評価益が減少したことにより28年3月末比38億46百万円減少し、6億92百万円の評価損となりました。
- 保有債券の修正デュレーション（固定債のみ） 4.59（前年比1.19）

② 仙台銀行



■ 国債 ■ 地方債 ■ 社債 ■ 株式 ■ その他証券



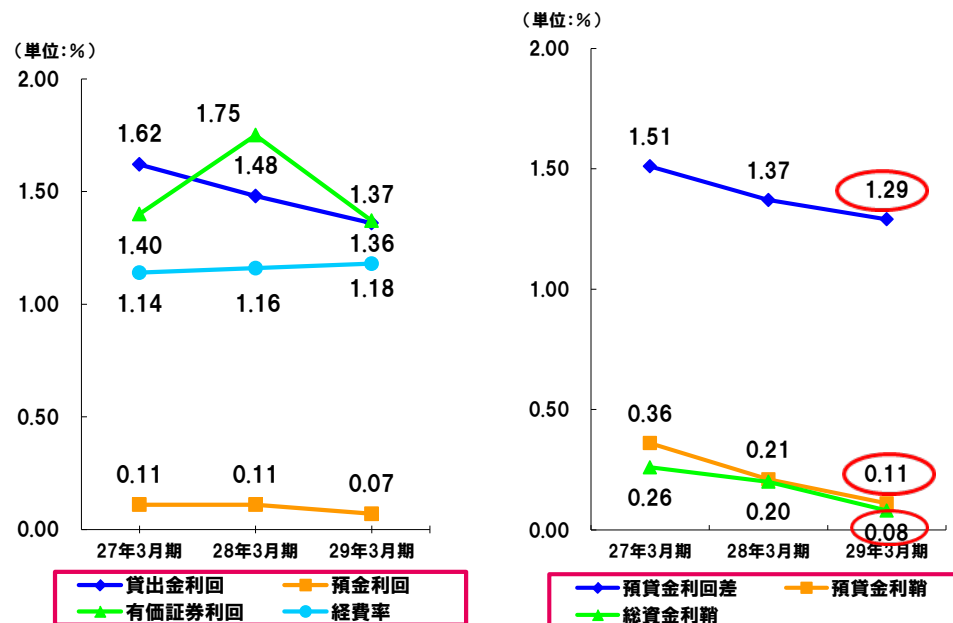
その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	28年 3月末	29年 3月末	28年 3月末比
その他有価証券	6,039	5,706	△ 332
株式	1,780	2,479	698
債券	5,364	4,004	△ 1,360
その他	△ 1,106	△ 777	329

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向に留意しながら効率的な資金運用に努めたことから、28年3月末比314億47百万円減少の3,474億55百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、金融市場の変動の影響を受け28年3月末比3億32百万円減少し、57億6百万円の評価益となりました。
- 保有債券の修正デュレーション（固定債のみ） 3.06（前年比△0.12）

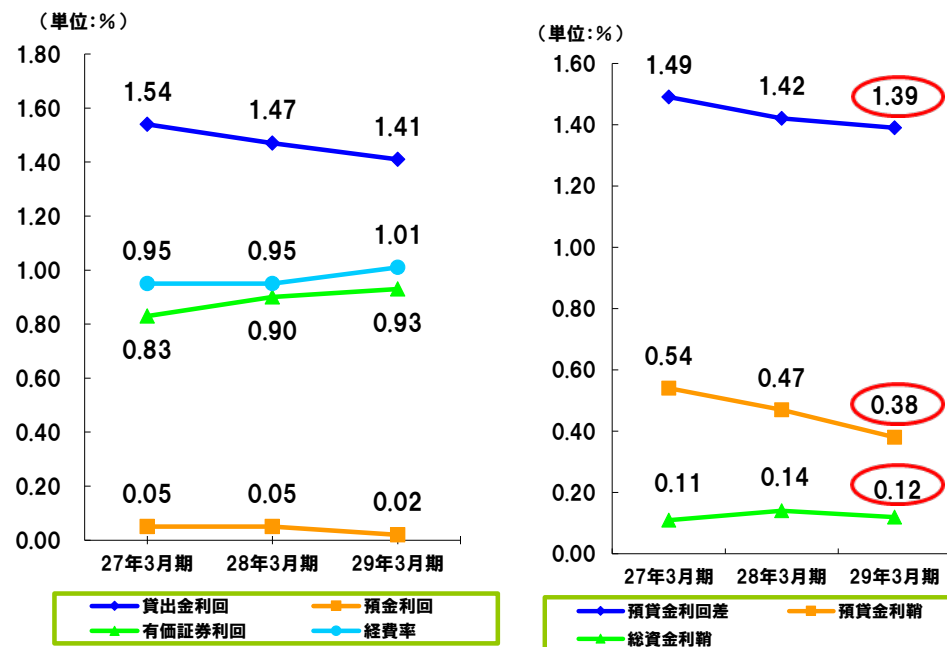
⑦各種利回り・利鞘の状況

① きらやか銀行



- 預貸金利回差 1.29% (前年同期比 0.08p低下)
市場金利の低下により、貸出金利回りが低下しました。預金利回りが低下したものの、貸出金利回り低下分(0.12p)をカバーできなかったことから、前年同期比低下となりました。
- 預貸金利鞘 0.11% (前年同期比0.10p低下)
預貸金利回差が縮小したことにより、前年同期比マイナスとなりました。
- 総資金利鞘 0.08% (前年同期比0.12p低下)
資金運用利回りが0.15p低下したことから、前年同期比マイナスとなりました。

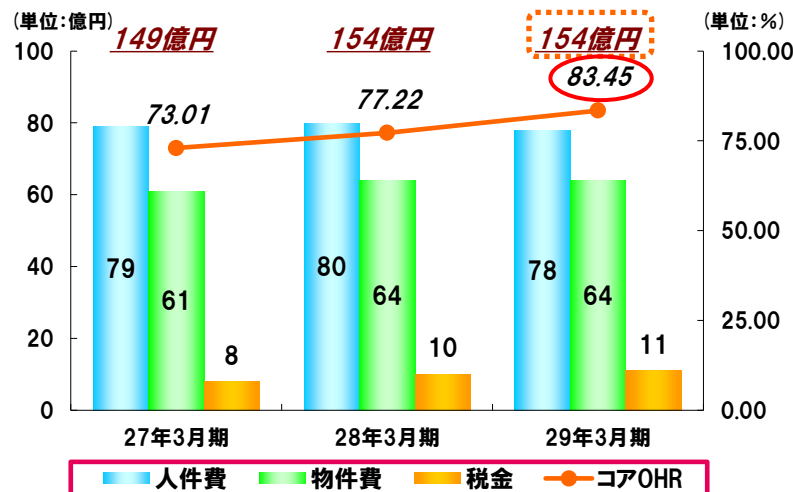
② 仙台銀行



- 預貸金利回差 1.39% (前年同期比0.03p低下)
貸出金利回(0.06p低下)、預金利回(0.03p低下)とともに低下となったものの、貸出金利回の低下分をカバーできなかったことから前年同期比低下となりました。
- 預貸金利鞘 0.38% (前年同期比0.09p低下)
経費の増加に加え、預貸金利回差が縮小したことから、前年同期比 マイナスとなりました。
- 総資金利鞘 0.12% (前年同期比0.02p低下)
資金調達原価の上昇分(0.03p上昇)を資金運用利回の上昇分(0.01p上昇)によりカバーできなかったことから前年同期比マイナスとなりました。

⑧経費・経営効率化の状況

① きらやか銀行



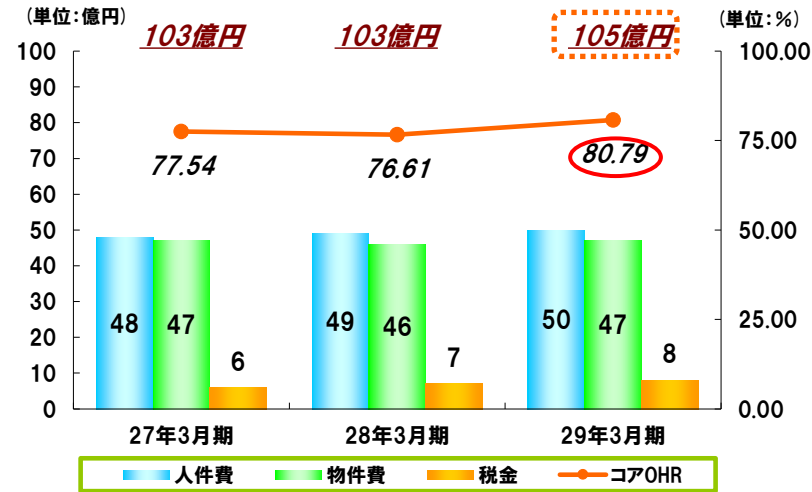
(単位:百万円)

	27年3月末	28年3月末	29年3月末
一人当たり預金	1,336	1,361	1,334
一人当たり貸出金	1,017	1,061	1,057
一店舗当たり預金	16,514	18,247	17,996
一店舗当たり貸出金	12,572	14,232	14,266
店舗数(店)	78	72	72
行員数(人)	964	965	971

※店舗数については、実質店舗で計上。インターネット支店を除く。
※行員数は、正行員数で出向者を除く。

- 経費は前年同期比16百万円増加の154億35百万円となりました。
- コアOHRは経費が前年と同水準であったものの、コア業務粗利益も減少したため、前年同期比6.23ポイント上昇し83.45%となりました。

② 仙台銀行



(単位:百万円)

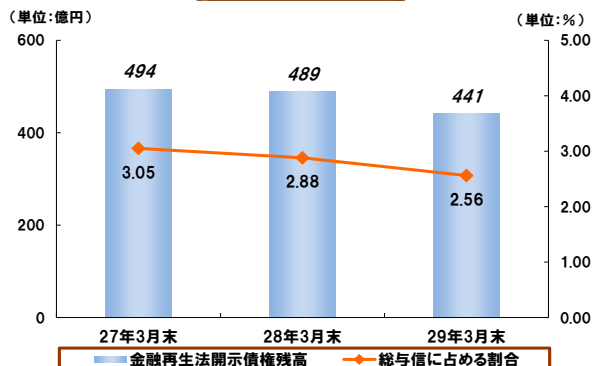
	27年3月末	28年3月末	29年3月末
一人当たり預金	1,508	1,466	1,580
一人当たり貸出金	864	927	993
一店舗当たり預金	17,708	16,922	17,262
一店舗当たり貸出金	10,145	10,707	10,847
店舗数(店)	61	61	62
行員数(人)	716	704	677

※店舗数については、実質店舗で計上。
※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は、物件費及び税金の増加により前年同期比1億91百万円増加の105億62百万円となりました。
- コアOHRは経費の増加に加え、コア業務粗利益が減少したため、前年同期比4.18ポイント上昇の80.79%となりました。

⑨ 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

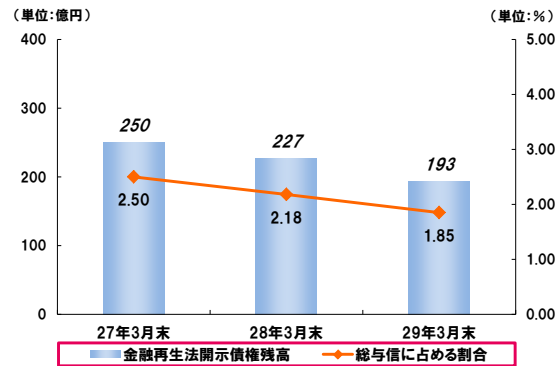
	28年3月末	29年3月末	28年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,933	4,730	△ 2,202
危険債権	37,266	35,270	△ 1,996
要管理債権	4,715	4,158	△ 557
合計 (A)	48,915	44,159	△ 4,756
正常債権	1,649,281	1,675,222	25,940
総与信額 (B)	1,698,197	1,719,382	21,184
(A / B)	2.88	2.56	△ 0.32

②金融再生法開示債権の保全状況(29年3月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,730	4,730	2,430	2,299	100.00
危険債権	35,270	31,756	25,555	6,201	90.03
要管理債権	4,158	1,229	842	387	29.57
合計	44,159	37,717	28,828	8,889	85.41

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、28年3月末比47億56百万円減少の441億59百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、28年3月末比0.32ポイント低下の2.56%となりました。

② きらやか銀行



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

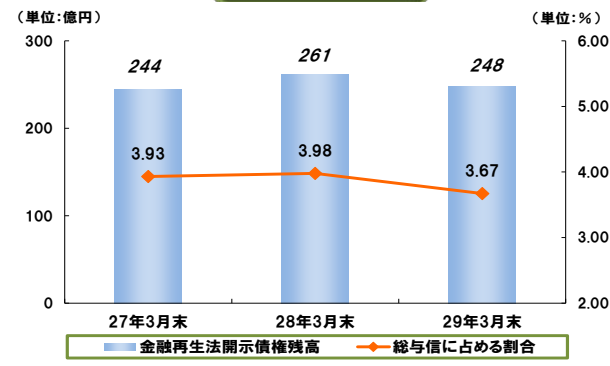
	28年3月末	29年3月末	28年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,585	3,186	△ 2,398
危険債権	14,121	13,353	△ 767
要管理債権	3,013	2,806	△ 206
合計 (A)	22,719	19,347	△ 3,372
正常債権	1,018,684	1,023,969	5,284
総与信額 (B)	1,041,404	1,043,316	1,911
(A / B)	2.18	1.85	△ 0.33

②金融再生法開示債権の保全状況(29年3月末) (単位: 百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,186	3,186	1,342	1,844	100.00
危険債権	13,353	10,830	8,730	2,100	81.10
要管理債権	2,806	565	189	375	20.13
合計	19,347	14,582	10,262	4,320	75.37

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、28年3月末比33億72百万円減少の193億47百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、28年3月末比0.33ポイント低下の1.85%となりました。

③ 仙台銀行



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円、%)

	28年3月末	29年3月末	28年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,348	1,544	195
危険債権	23,145	21,916	△ 1,228
要管理債権	1,702	1,351	△ 350
合計 (A)	26,196	24,812	△ 1,383
正常債権	630,597	651,253	20,656
総与信額 (B)	656,793	676,065	19,272
(A / B)	3.98	3.67	△ 0.31

②金融再生法開示債権の保全状況(29年3月末) (単位: 百万円、%)

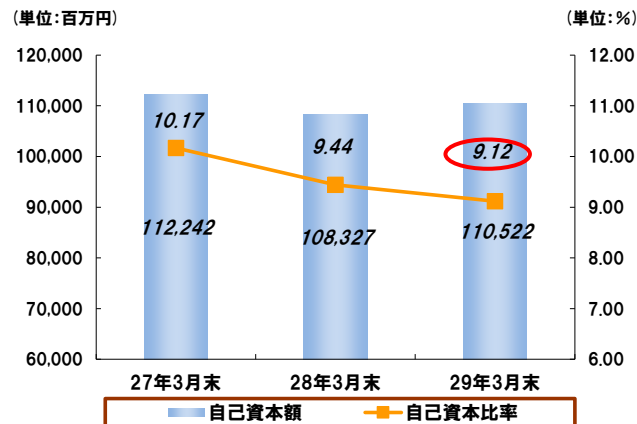
	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,544	1,544	1,088	455	100.00
危険債権	21,916	20,926	16,825	4,100	95.48
要管理債権	1,351	664	652	12	49.17
合計	24,812	23,134	18,566	4,568	93.23

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、リスク管理債権の回収等により、28年3月末比13億83百万円減少の248億12百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、28年3月末比0.31ポイント低下の3.67%となりました。

⑩ 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



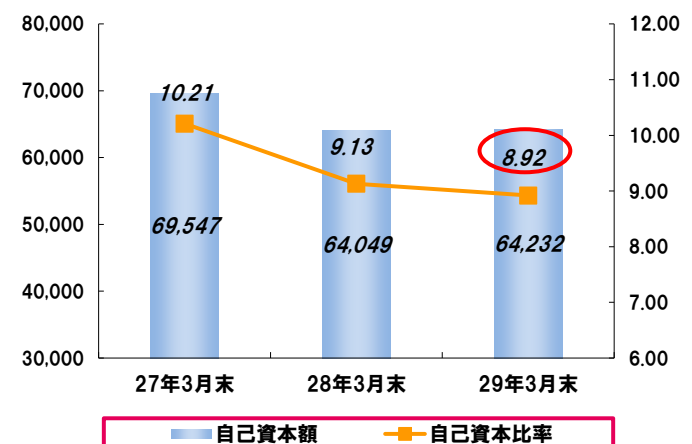
(単位: %)

	27年 3月末	28年 3月末	29年 3月末	28年 3月末比	増減率
連結自己資本比率	10.17	9.44	9.12	△0.32	△3.4

- じもとホールディングスの連結自己資本比率は9.12%となりました。

② きらやか銀行

(単位: 百万円)



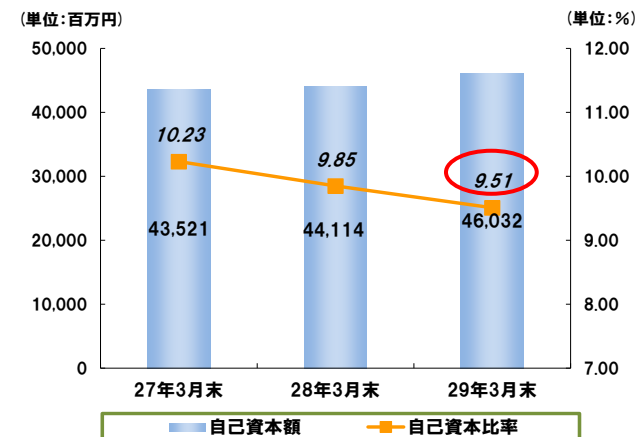
(単位: %)

	27年 3月末	28年 3月末	29年 3月末	28年 3月末比	増減率
自己資本比率[単体]	10.21	9.13	8.92	△ 0.21	△ 2.3
自己資本比率[連結]	10.22	9.16	8.86	△ 0.30	△ 3.3

- 単体の自己資本比率は、当期純利益を22億円計上したことで自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、28年3月末比0.21ポイント低下の8.92%となりました。

③ 仙台銀行

自己資本比率の推移



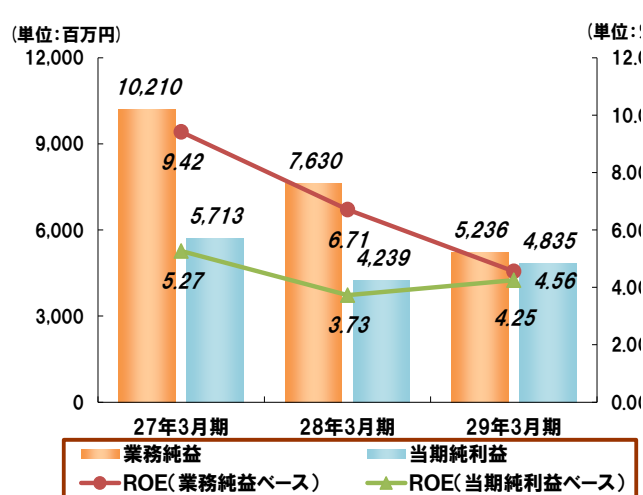
(単位: %)

	27年 3月末	28年 3月末	29年 3月末	28年 3月末比	増減率
自己資本比率	10.23	9.85	9.51	△0.34	△3.4

- 自己資本比率は、当期純利益を26億34百万円計上したことで自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、28年3月末比0.34ポイント低下の9.51%となりました。

⑪ R O E の状況

① 2行合算

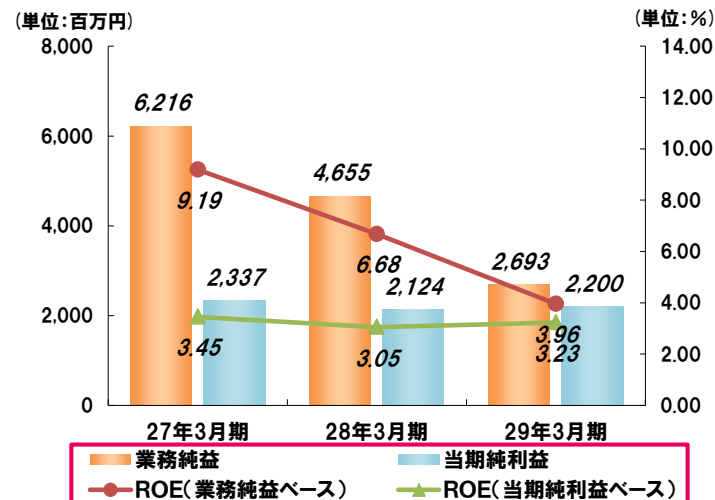


(単位:%)

		28年 3月期	29年 3月期	28年 3月期比
ROE	業務純益ベース	6.71	4.56	△2.15
	当期純利益ベース	3.73	4.25	0.52

- 29年3月期の2行合算のROE
業務純益ベース 4.56% (前年同期比△2.15p)
当期純利益ベース 4.25% (前年同期比0.52p)

② きらやか銀行

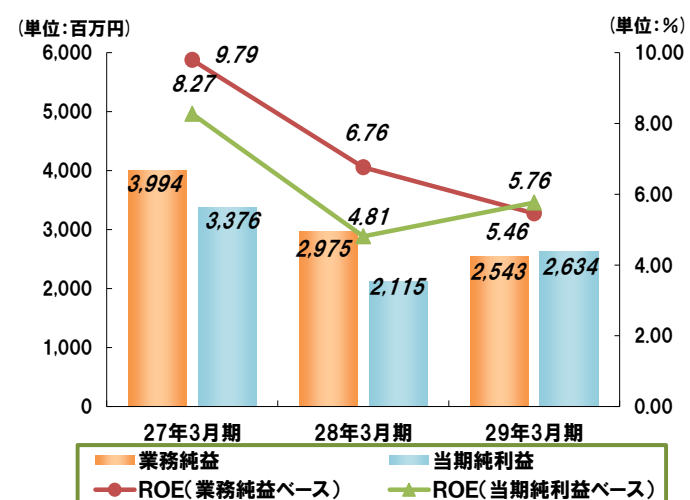


(単位:%)

		28年 3月期	29年 3月期	28年 3月期比
ROE	業務純益ベース	6.68	3.96	△2.72
	当期純利益ベース	3.05	3.23	0.18

- 29年3月期のきらやか銀行のROE
業務純益ベース 3.96% (前年同期比△2.72p)
当期純利益ベース 3.23% (前年同期比0.18p)

③ 仙台銀行



(単位:%)

		28年 3月期	29年 3月期	28年 3月期比
ROE	業務純益ベース	6.76	5.46	△1.30
	当期純利益ベース	4.81	5.76	0.95

- 29年3月期の仙台銀行のROE
業務純益ベース 5.46% (前年同期比△1.30p)
当期純利益ベース 5.76% (前年同期比0.95p)

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

(単位:百万円)

	平成30年3月期	中間期	(参考) 平成29年3月期 実績
経常利益	3,700	1,000	4,737
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,200	800	4,628

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考)平成29年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

- じもとホールディングスの平成30年3月期の連結業績予想は、経常利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益32億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成29年3月期の1株あたりの期末配当金は、2円50銭を予定しております。また、平成30年3月期の年間配当金は、1株あたり5円を予定しております。

② 子銀行の個別業績予想

きらやか銀行

(単位:百万円)

	平成30年3月期	中間期	(参考) 29年3月期 実績
経常利益	2,200	600	2,159
当期純利益	2,000	500	2,200

仙台銀行

(単位:百万円)

	平成30年3月期	中間期	(参考) 平成29年3月期 実績
経常利益	1,500	500	2,878
当期純利益	1,200	400	2,634

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益22億円、当期純利益20億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益15億円、当期純利益12億円を見込んでおります。

2. 両行における取組みについて

仙台銀行は 人で勝負する銀行

仙台銀行は更に
STEP UP
していきます!!

職員の成長・活躍

東北地銀初の
“農業経営上級アドバイザー”

当行職員による
お客さま向け勉強会の開催

組織整備・人材育成

新たな形の研修を実施

人材育成の体制を強化

職員の自己研鑽を奨励



本部職員のステップアップ



＜地元企業応援部 企画室＞

相談は資金面だけではない
法人化・販路拡大・事業承継
と多様化



被災者の新設農業法人も
復旧風評被害等の資金ニーズに対応!!
震災後、平成29年3月末までの実績…

135件 38億円!!

中心的な存在

農業経営アドバイザー **19名**在籍
農業経営上級アドバイザー **東北地銀初**合格者も!!

STEP UP

POINT!!

高度な知識で
地域農業を**活性化!!**



経営支援



外部講師



各種セミナー・イベント企画

営業店職員のステップアップ



<地元企業応援部 推進室>



中小企業向け融資の
提案・推進だけに留まらず
若手行員の育成（OJT）
を実施!!

- ゼロから始める女性融資渉外研修
- 融資提案力・新規開拓力アップ研修
- 若手職員融資道場
- 30代の融資渉外専門の先輩行員と同行
- 若手職員短期トレーニー

営業店へ配属

推進室出身の渉外担当者 **100名超** 在籍

STEP UP

POINT!!

豊富な**経験**と**行動力**を
武器に様々なニーズに対応



■ 当行職員による勉強会講師



■ B M ・ 販路拡大支援

外部機関・専門家ネットワークの充実

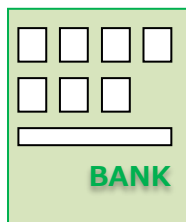
＜ 中小企業等お取引先のニーズ ＞

創業支援 事業再生 事業承継 M & A 販売戦略 財務戦略

課題解決を支援

仙台銀行&じもとHD

- 農業経営アドバイザー
- 水産業経営アドバイザー
- 中小企業診断士
- 不動産鑑定士
- 医療経営士等



連携

外部機関&専門家

- 税理士会 (TKC)
- 宮城県よろず支援拠点
- 再生支援機構(CRC)
- みやぎ産業振興機構
- 弁護士 ■ 公認会計士
- 日本政策金融公庫

人材育成体制のステップアップ

- 全職員が組織的に本業支援を行なうため情報ネットワークの構築を始め、人材育成に注力するとともに、お客さまへの情報提供を行っております。
- 中小企業診断士・不動産鑑定士・農業経営上級アドバイザー・医療経営士など専門分野の有資格者を適所配置して、本業支援に取り組んでおります。

（本業支援関連研修の実施状況）

ベンチマーク（指標）	研修実施回数	参加者	資格取得者
取引先の本業支援に関連する研修等の実施回数、同研修等への参加者数、及び同趣旨の取組みに資する資格取得者数。	44回	1,824人	累計 99人 (29年3月期 7人増)

（資格名称別取得者数）

資格名称	資格取得者	資格名称	資格取得者
中小企業診断士	3人	医療経営士2級	1人
不動産鑑定士	1人	医療経営士3級	5人
農業経営上級アドバイザー	1人	動産評価アドバイザー	2人
農業経営アドバイザー	18人	1級ファイナンシャル・プランニング技能士	25人
水産業経営アドバイザー	1人	宅地建物取引士	42人

外部専門家・行員の力により開業をサポート!!

事業ニーズ把握 (連携先からの情報提供)



動物病院の新規開業を目指したいが、どうすれば良いか分からない…
(あろう動物病院様※当時は勤務医)



外部専門家と営業店・本部の “職員の力”を結集し本業支援を実施



- 事業計画の作成支援
- 計画に基づくスピード審査
- 公庫との協調による資金支援
- 新規雇用（従業員）の支援
- B Mによる売上拡大支援



『動物病院オープン!!』

POINT!!

- 連携先との協力により幅広く事業ニーズ・情報を収集
- 本業が忙しい事業者の事業計画書等の資料作成を支援

仮設最後の営業日、再建完了 女川支店（平成29年4月17日オープン）



女川駅前商業エリア「まちなみデザイン誘導ガイドライン」に準拠したデザインを特長に、当行の少数店舗のモデル店として位置付けています。



4月14日に仮設での営業が最後となり、お客さまからは「助かりました。助けられたことは忘れない」との言葉をいただきました。

ネーミングライツ・ 地元チームスポンサー



イズミティ21の施設命名権者として、仙台市とネーミングライツ契約を締結しました。



地元の野球、サッカーチームとスポンサー契約を締結。バスケットボールチームを含め3チームをサポート。

岩沼市との協定・ 店舗建替・植樹祭

高齢者見守り協定



当行岩沼支店の建替



第5回千年希望の丘植樹祭2017





おかげさまで きらやか銀行は10周年をむかえました



このポスターは
248名のお客さまからいただいた
“笑顔”を込めた一枚です。



“私たちの想い”

本業支援を通して、地元の「中小企業」と「そこに働いている従業員の方々」から喜んでいただき、地域と共に生きること。

平成28年度の取組状況

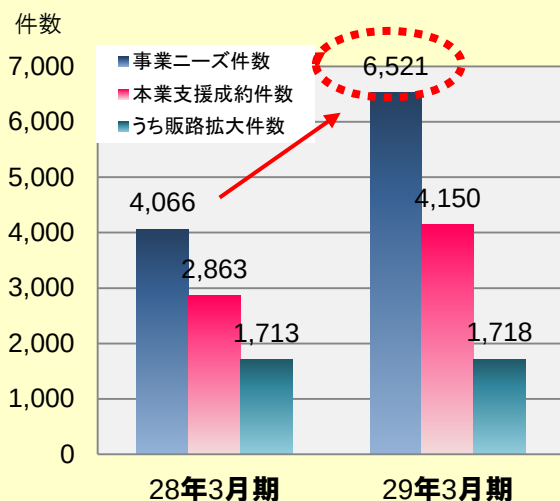
きらやか銀行の「本業支援」

	28年3月期	29年3月期	増減
本業支援成約先数	2,015	3,084	+1,069
本業支援成約件数	2,863	4,150	+1,287

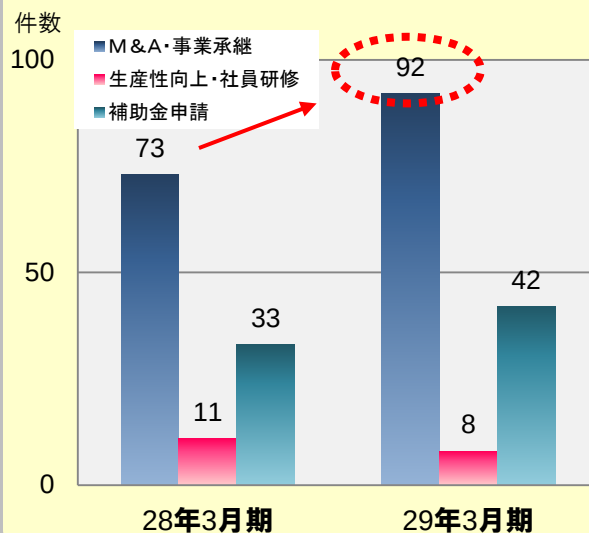
1年間で本業支援が成約した取引先数は・・・

“1.53倍”

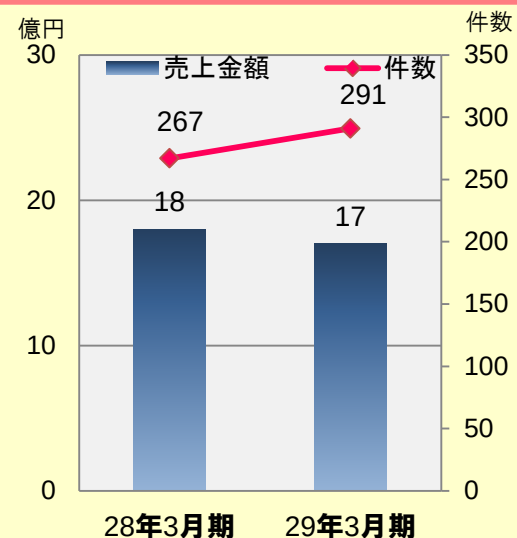
平成28年度の取組状況



コンサルティング子会社の活用高度化



本業支援（販路拡大）による取引先件数・売上





昨年10月から新たな取組み

【平成21年10月から本業支援スタート】

お客様が抱える「悩みや課題」
共有し共に解決する動きを
組織的かつ継続的に展開

【平成28年10月から】

地元中小企業のお客様へ将来に亘って発展してもらえるよう

2つの本業支援を行っています



財務の本業支援

+

成長の為の本業支援

事業性評価に基づき
資金繰りなどの
財務の改善を提案

成約 **683**先

お客様と**将来像を共有し**
一緒に課題を解決

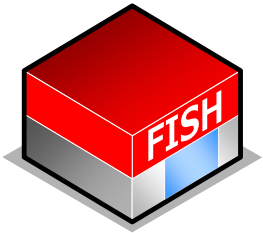
本業支援宣言 **604**先 成約 **183**先

(29.3末時点)



「財務の本業支援」・「成長の為の本業支援」の具体的事例

老舗鮮魚店 売上6,000万円



課題

- ・売上減少
- ・資金調達困難
- ・親族から借入
→親族もノンバンクから借入



3年後想う姿

- ・親族へ返済
- ・資金繰り安定
- ・売上増加

将来の夢実現の為、**2つの本業支援**を行いました！

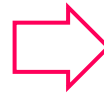
＜＜財務の本業支援＞＞

複数借入一本化により
財務の健全化を図りました

貸借対照表	
	負債
資産	親族借入
	A ノンバンクより調達
	B 年金担保より調達
	C 預貯金
	役員借入
	資本

→

貸借対照表	
	負債
資産	きらやか銀行より借入
	資本



＜＜成長の為の本業支援＞＞

本業支援 宣言

将来にわたり

- ・旅館・ホテルを紹介します
- ・業務の効率化を支援します

これまでの成果

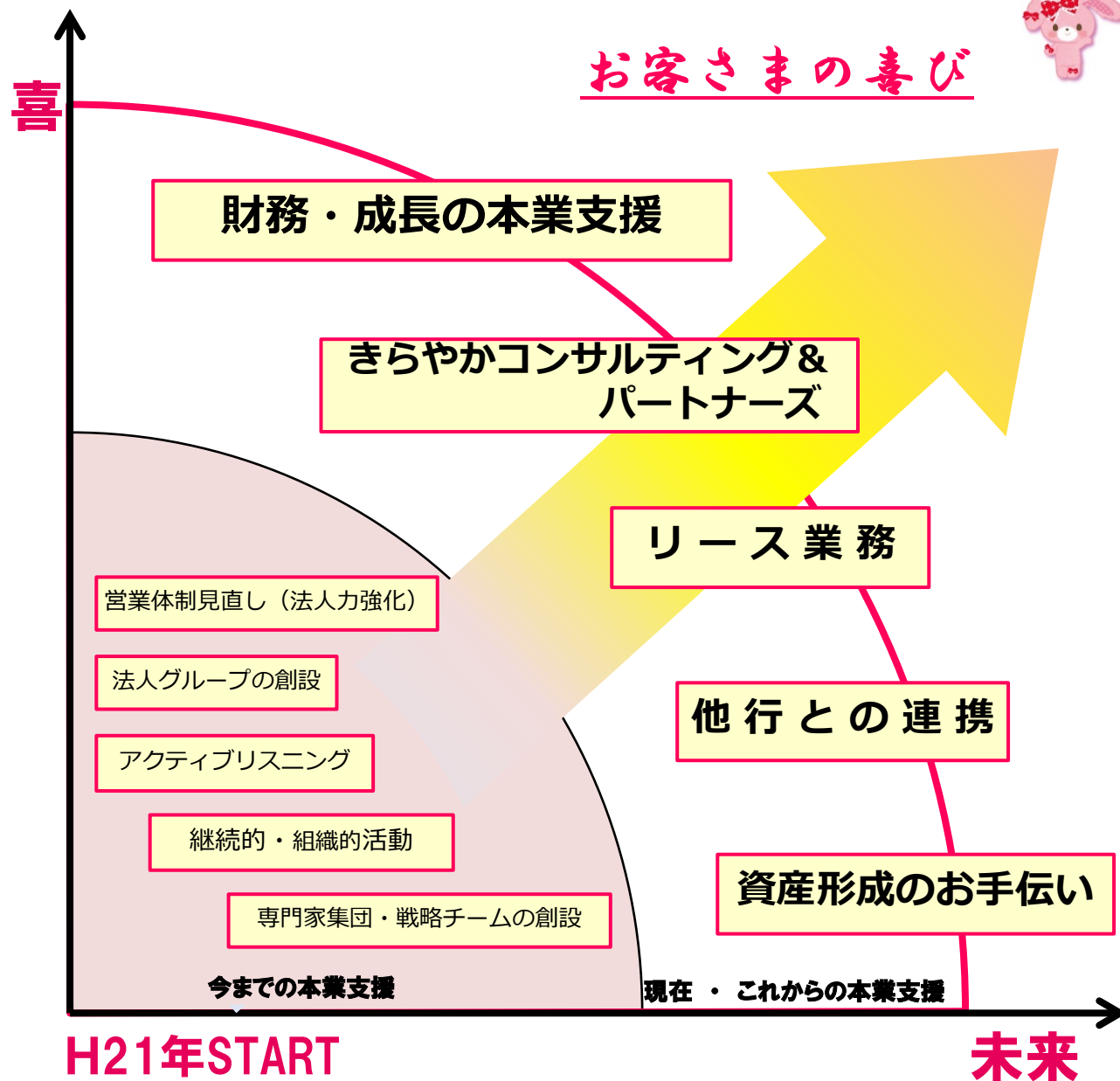
- ・旅館 ホテルを3先紹介
- ・配送効率化の為に冷凍車1台導入

さらなるアクション

コンサルティング子会社(KCP)で
売上増加を支援します

これからの 本業支援の進化

- ➡ 金融機能を必要としているお客様への対応
- ➡ お客様ニーズへの対応の充実
- ➡ ワンストップ対応の実現
- ➡ 県外情報のさらなる提供
- ➡ 従業員様の喜びの実現



更に、これから・・・本業支援の**進化**



きらやかコンサルティング&パートナーズ（KCP）

設立！（※平成29年1月から）

👉 お客様のニーズにあったオーダーメイドのご提案！

主な業務内容

コンサルティング業務

- 事業承継対策支援
- M&A支援
- 経営戦略策定コンサルティング
- 財務コンサルティング

主な実績（28年度 きらやか銀行・KCP）

事業承継・M&A

92 件

コンサルティング

48 件

人材育成支援業務

- 「きらやか人材育成プログラム」
など各種セミナー開催
- 階層別研修
- 人事制度検討サポート

主な開催セミナー

「きらやかマネジメントスクール」
（山形大学連携）
「きらやかレディースセミナー」
（東北文教大学連携）
「きらやか経営者セミナー」
「新入社員研修」

年間受講者 合計 1,309名

経験豊富な

アドバイザー12名

がお待ちしております

お客様



ご相談



きらやか銀行

↑
方向性
ご提案

↕
連携

きらやかコンサルティング&パートナーズ（KCP）

お客様の売上げ増加をお手伝いする
コンサルティングを開始しました

新 業 務

・日報コンサルティング

⇒売上日報の**赤ペン**指導で売上増加

・日本人材機構と連携した

経営コンサルティングの強化

⇒人材紹介にとどまらない

経営全般のサポート

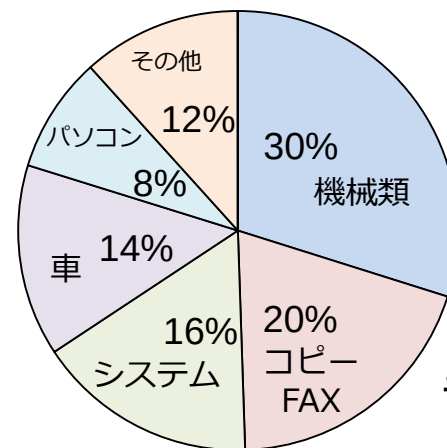
更に、これから・・・本業支援の**進化**

リース業務

👉 **平成29年5月から**

銀行本体でリース業務 始めました！ ▶

当行へご相談ください！



子会社における
リース取扱い割合



共同研究会の発足

👉 **岡山県の「トマト銀行」と本業支援の取組を共有し
地元企業の発展を支援してまいります**

これまでの取組み

平成29年1月：共同研究会発足

平成29年2月：キックオフミーティング実施

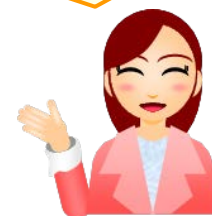
平成29年4月：第1回WEB会議実施

平成29年6月：勉強会実施

資産形成のお手伝い

👉 **福利厚生の一環として、企業で働く従業員様の資産形成に
社長と一緒に取り組みたい**

**CC（カスタマー・コンシェルジュ）10名を配置し
資産形成のお手伝いをさせていただきます。**



「きらやかさん」が 10周年のスタートとして・・・



きらやか銀行の 新しいキャラクターです。
今後いろいろな場面でお会いします。

こんにちは！わたしの名前は **ぼんぼんりぼん**



ラララフローラ



ミルキーミミ

ぼんぼんりぼんちゃんは
おしゃれが大好きな
ピンクのうさぎ

お誕生日 8月8日
今は歌とダンスに夢中
将来の夢はデザイナー



ぼんぼんりぼん



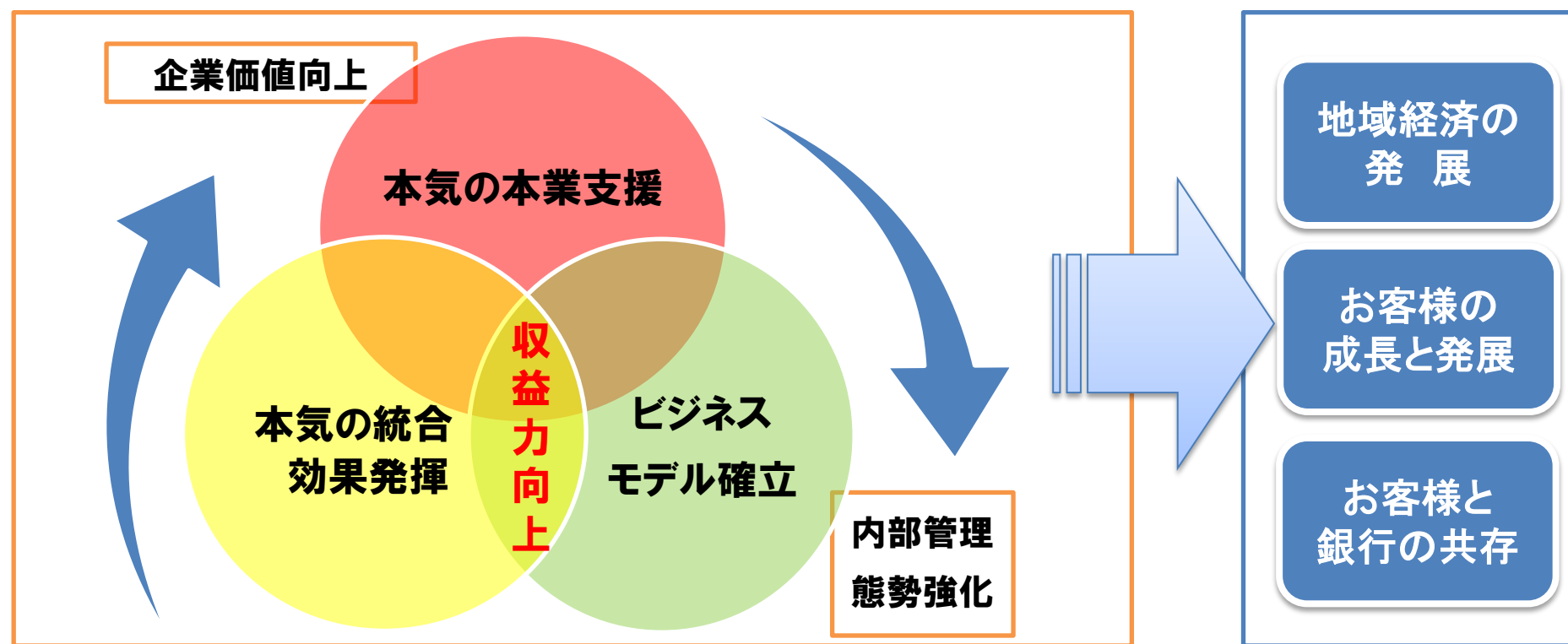
るんるんルル

Bonbonribbon

©2012, 2017 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No.G580782

3. じもとホールディングスの取組みについて

お客さまと価値観を共有する 「持続可能なビジネスモデル」の確立で成果を出す！



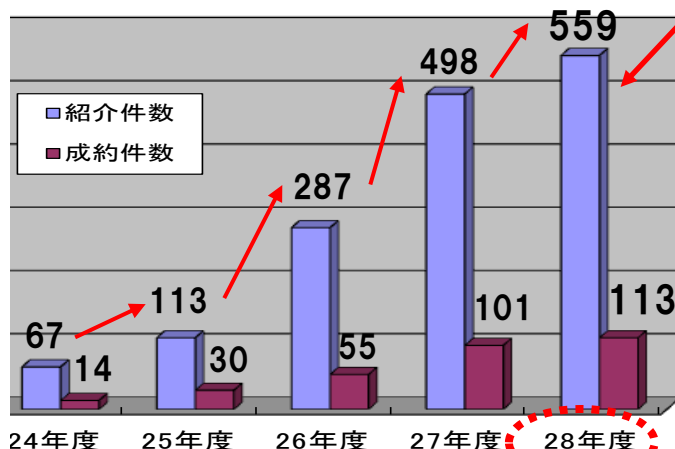
じもとグループは「**本気の本業支援**」で**宮城と山形を強力につなぐ**ことにより、他行の追随を許さない金融グループを目指します！

1. 本気の本業支援(本業支援の進化・発展)

組織的な本業支援の更なる強化

県境を越えた情報の集約と提供

ビジネスマッチングの実績



紹介件数・成約件数ともに、
5年連続で実績が増加！

平成28年度 実績	ビジネスマッチング		
	合計	うち「宮城 と山形をつ なぐ運動」 実績※	うち商談 会等実績
紹介件数 (うち成約件数)	559 (113)	201 (40)	358 (73)

※「宮城と山形をつなぐ運動」⇒両行を跨いだビジネスマッチング

さらに！

グループの強み
組織的な取組が効果を発揮
[HD⇄子銀行:本部⇄営業店]

成約率20%以上
(成約件数／紹介件数)
高い成約率を実現！

2. 本気の統合効果発揮(経営の合理化・効率化)

業務運営の統一

システムの統一

【主な取組み】

- 統一化・合理化に向け両行統一項目を選定し取組をスケジュール化、平成30年3月までに完了予定。
- ・29年1月 ホームページデザイン統一
- ・29年4月 人事制度統一
- ・29年4月 統合顧客管理システム[クラウド版](顧客情報管理・活用を統一)
- ・29年5月 融資信用格付・自己査定システム(資産査定の方針・手法を統一)
- ・29年5月 きらやか銀行市場金融部を仙台銀行本店ビルへ移転



グループとして
更なる効率化を実践！

東京TYフィナンシャルグループとの連携協定

「地域の中小企業の皆さまに本業支援を実践する」という『同じ志』を持つ両金融グループによる連携

連携の内容

(1) 本業支援に関する連携・協力

① 事業承継・M&A等の支援業務等に関する事項 ② ビジネスマッチング業務に関する事項

(2) 両グループ内で保有する本業支援に関するノウハウの共有・高度化を図ることを目的とした情報交換会や共同研修の開催及び専門人材の育成・交流

ホールディングス
設立5年間の実績



『広域マーケット』における本業支援の実践を通じ、今まで以上に付加価値の高いサービス提供が可能！

これまでの
取組事例

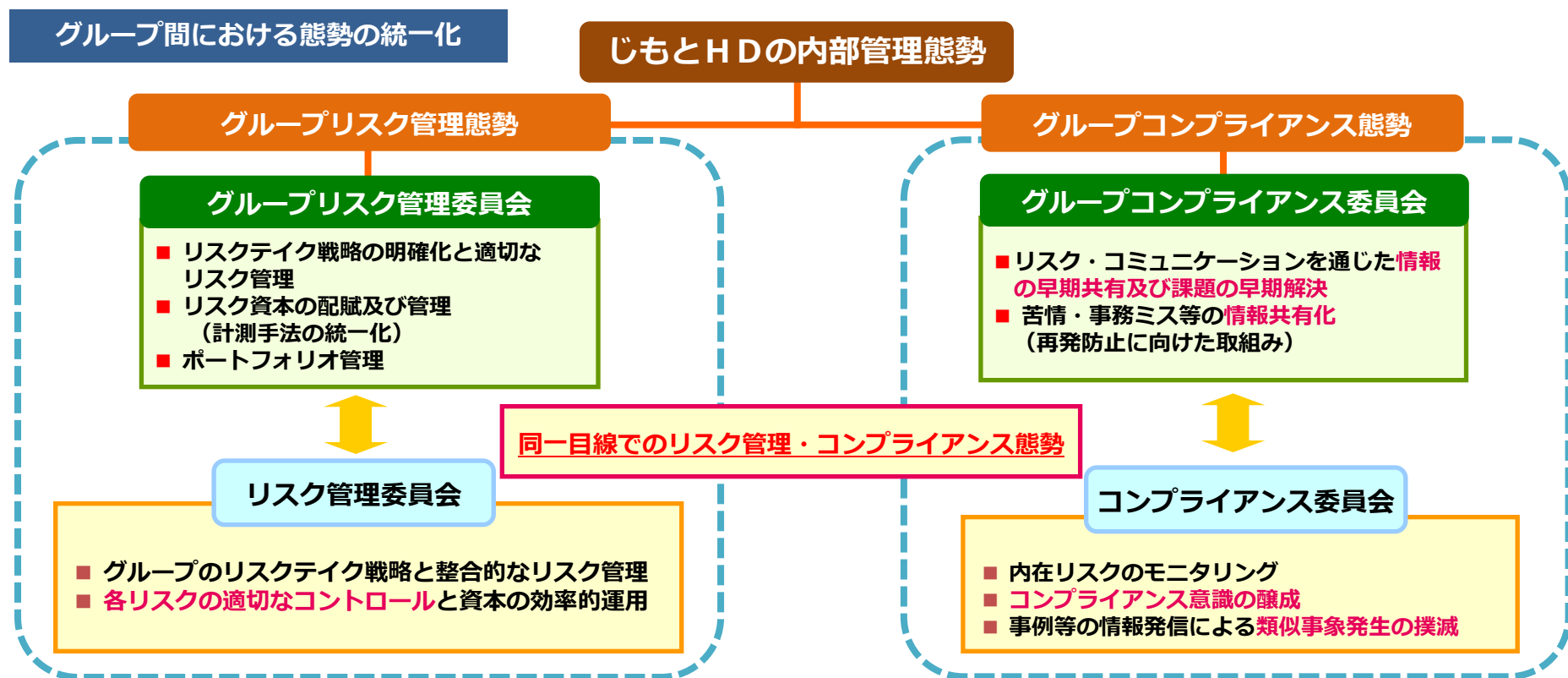
(1) 連携・協力

- ・東京TYフィナンシャルグループが3月に主催の個別商談会へ、じもとホールディングス取引先企業が参加。
- ・東京TYフィナンシャルグループ取引先からのビジネスマッチング依頼に関して、3月に同社の商品等説明会を山形で実施。

(2) ノウハウの共有・高度化

- ・両グループの担当部長・職員が情報交換会を定期的に実施。(会場: きらやか銀行、テレビ会議等)
- ・2月に仙台銀行お客様組織会交流会へ東京TYフィナンシャルグループ職員が参加し、同グループ取引先の展示コーナーを設置し紹介する。

③ じもとホールディングスの内部管理態勢



リスクアセスメント態勢の構築と機動的な対応

1. リスクアセスメント態勢の構築

- ◆ リスクアセスメント態勢の構築により、グループ態勢上の弱点、問題点等の把握・改善を通じ、業務運営態勢の健全性・適切性を確保する。

2. リスク管理態勢の強化

- ◆ トップリスクの明確化とモニタリングの強化
- ◆ リスク顕在化事象の早期把握と早期のアラーム発信
- ◆ リスク・プロファイル分析およびリスク・リターン分析の強化

「金融環境の変化に機動的に対応することができる内部管理態勢」の一層の強化に取り組む

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス
総 合 企 画 部

TEL : 022-722-0011 (代表)
<http://www.jimoto-hd.co.jp>